

事業コード	H17-建-新-8		区 分	国庫補助 県単独
事業名	雪寒道路整備事業		部局課室名	建設交通部 道路環境課
事業種別	防雪事業		班 名	道路環境推進班 (tel) 018-860-2488
路線名等	一般国道342号		担当課長名	虻川 憲悦
箇所名	東成瀬村狐狼化		担当者名	渡辺 博
総合計画との関連	政策コード	C	政 策 名	快適で安全な生活を支える環境づくり
	施策コード	01	施 策 名	四季を通じて快適な生活環境の確保
	指標コード	05	施策目標(指標)名	消・融雪施設等整備率

1. 事業の概要

事業期間	H18 ~ H19 (2年)		総事業費	1.5億円	国庫補助率	6/10	
事業規模	延長 L = 30.0m、H = 4.7m、W = 10.0m						
事業の立案に至る背景	<p>国道342号は横手市を起点として東成瀬村、岩手県一関市を經由し、宮城県登米市に至る幹線道路である。沿線には栗駒山や須川温泉を擁することから観光道路の機能も有している路線である。</p> <p>当該区間は、冬期閉鎖区間で雪崩が多く発生することから、例年5月に閉鎖を解除していたが、雪崩対策を行うことにより4月下旬の通行が可能となった。その結果観光客、売上、雇用等が増加し、東成瀬村には大きな経済効果が生まれている。当該区間を整備することにより、現在事業箇所区間と一体で整備され、安全で安心できる道路の確保が図られる。</p>						
事業目的	防雪施設の整備により、雪崩発生を防ぎ、道路の防災対策を図る。						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度以降
	事業費		150,000	80,000	70,000		
	経費内訳	工事費	140,000	70,000	70,000		
		用補費					
		その他	10,000	10,000			
	財源内訳	国庫補助	90,000	48,000	42,000		
		県 債	23,000	12,000	11,000		
その他							
一般財源		37,000	20,000	17,000			
事業内容		スノシート*1基	詳細設計 スノシート*	スノシート*			
調査経緯	なし						
上位計画での位置付け	総合計画における施策「快適で安全な生活を支える環境づくり」を支援する事業						
関連プロジェクト等	なし						
事業を取り巻く情勢の変化	四季を通じた快適な生活環境を図るには、積雪・寒冷地区の冬期交通の確保は必要不可欠になっている。						
事業効率把握の手法	指 標 名	雪崩要対策箇所					
	指 標 式	対策箇所 / 要対策箇所					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	94 箇所		データ等の出典	H8 防災点検		
	達成値 b	36 箇所					
	達成率 b/a	38 %		把握の時期	平成17年 3月		

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ・一般県民を対象とした調査でもニーズが高い(危険箇所の解消)。 ・平成13年4月に雪崩が発生し、その他小崩落も毎年発生している。 ・H8防災点検の雪崩要対策箇所 	26点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業未実施の場合、雪崩発生の危険性がある。 ・平成16年度まで雪崩柵を整備しており、一体で整備し概成を図る必要がある。 	10点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ・他工区との関連により一体で整備される。 ・冬期閉鎖解除を早めることにより、東成瀬村の経済効果が上がる。(観光客数、売上額、雇用等) 	17点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ・工事発注の際には、環境へ配慮し、コスト縮減を図る。 	11点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村も積極的に参画している。 ・早期の冬期閉鎖解除が定着し、より安全な道路空間の確保が望まれる。 	15点
判 定	ランク () 「必要性」や「有効性」が特に高い点数となっており、安全で安心できる道路空間の確保や将来的な効果の面でも有用な箇所であり、実施すべきと考える。	79点
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定 改善して選定 保留
	当該路線は観光道路としての機能が強く、ゴールデンウィーク以前に、栗駒山荘や須川温泉への通行を確保するためスノーシェッドを整備することは地域に大きな波及効果をもたらすことから、事業実施は妥当と判断される。

4. 財政課長意見

意見内容	選定 改善して選定 保留
	当該路線は観光繁忙期であるゴールデンウィークからの早期通行確保が求められており、当該箇所を整備することで、前後に設置された雪崩防止柵等と一体となって雪崩対策が完了することから、事業の実施は妥当と判断される。

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定 改善して選定 保留
	事業の実施は妥当である。

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

当該箇所を国に新規要望する。 事業実施にあたっては、コスト縮減等に努める。
--

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の総合評価を可とする。

評価種別 新規箇所評価

事業コード(H17-建-新-8)

適用基準名 防雪事業(スノーシェッド、防雪柵)

箇所名 (東成瀬村狐狼化)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	事業の必要性	雪害指定路線である	5	5		
	県関与の必要性	雪害指定路線でない	0			
	県民ニーズ	一般県民を対象とした調査でニーズが高い 一般県民を対象とした調査でニーズを把握 一般県民を対象とした調査を行っていない	一般県民を対象とした調査でニーズが高い	5		5
			一般県民を対象とした調査でニーズを把握	3		
			一般県民を対象とした調査を行っていない	1		
			増大している	5		
	社会情勢変化による需要変化	特に変化はない 低下している	特に変化はない	3		5
			低下している	1		
			5件該当	15		
	道路の現状 ・H8防災点検箇所 ・現道の混雑度 1.0 ・現道の旅行速度 30km/h ・事故、災害が発生(過去5箇年) ・バス路線	4件該当	13			
3件該当		11				
2件該当		9				
1件該当		7				
該当項目なし		0				
計			30	26		
緊急性	緊急輸送道路又は緊急確保路線	指定路線である	5			
	事業未実施の影響	指定路線を補充する	3			
		指定路線と関連がない	0		0	
		周辺への影響等が大きい	5			
	他事業との関連	周辺への影響等が小さい	1		5	
関連事業との調整で緊急性が高い		5	5			
関連事業との調整で緊急性が低い	1					
計		15	10			
有効性	期待される具体的効果					
	緊急医療施設へのアクセス	直接アクセスする	5	3		
		間接的に補充する	3			
		アクセスへの貢献は小さい	1			
	高速IC、空港、港湾等へのアクセス	直接アクセスする	5	1		
		間接的に補充する	3			
		アクセスへの貢献は小さい	1			
	冬期観光施設へのアクセス	直接アクセスする	5	5		
		間接的に補充する	3			
	アクセスへの貢献は小さい	1				
上位計画への貢献度						
あきた21総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い	5	5			
	施策目標に間接的に貢献する	3				
	施策目標とは別のその他関連事業である	1				
市町村合併関連	市町村合併の推進に貢献する	5	3			
	市町村合併の推進には特に影響しない	3				
	施策目標とは別のその他関連事業である	0				
計		25	17			
効率性	事業実施コストの縮減					
	該当項目数	有り	5	5		
		無し	0			
	交通量	1,000台/日以上	10	6		
		500台/日以上～1,000台/日未満	8			
300台/日以上～500台/日未満		6				
300台/日未満		0				
計		15	11			
熟度	地元との合意形成の状況					
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く、要件の同意をクリアしている	5	5		
		意向が強く、要件の同意を概ね得ている	3			
		意向が一部で強く、要件の同意を得ていない	1			
	市町村の参画	積極的に参画し、要望書等の提出がある	5	5		
		参画している	3			
環境との調和						
環境保全への配慮	十分に配慮されている	5	5			
	配慮が不十分で、検討している	3				
	特に配慮はない	0				
計		15	15			
合計			100	79		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		